



平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 7 月 30 日

上場会社名 株式会社 極楽湯 上場取引所 JQ
 コード番号 2340 URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川 隆丈
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部長 (氏名) 松本 俊二 (TEL)03-5275-0580
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 13 日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 1 四半期	2,312	10.5	69		89		137	
22 年 3 月期第 1 四半期	2,092	1.1	27		17		17	

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	12.95	
22 年 3 月期第 1 四半期	1.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	13,436	4,501	32.3	409.22
22 年 3 月期	13,751	4,690	32.9	427.58

(参考)自己資本 23 年 3 月期第 1 四半期 4,334 百万円 22 年 3 月期 4,528 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 3 月期		0.00		6.00	6.00
23 年 3 月期					
23 年 3 月期(予想)		0.00		6.00	6.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	4,848	6.0	0		50		193		18.22
通 期	10,000	4.5	300	19.1	150	40.3	68		6.42

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無
新規社（社名）、除外社（社名）

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期1Q	11,529,000株	22年3月期	11,529,000株
期末自己株式数	23年3月期1Q	937,560株	22年3月期	937,500株
期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期1Q	10,591,483株	22年3月期1Q	10,591,500株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.2「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 資産除去債務に関する注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、アジアを中心とした海外経済の回復に伴う輸出と生産の増加を背景に、企業収益の改善や設備投資の下げ止まり等、景気は緩やかに回復しつつあるものの、円高の進行や欧州の財政危機等の新たな不安要素も加わり、本格的な回復とは言い難い状況で推移いたしました。

また、当社を取り巻く環境におきましても、昨年より続く厳しい雇用・所得環境により、消費者の節約志向は依然強く、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、前連結会計年度に出店した3店舗の売上がフルに寄与したことに加え、青果等の物販を強化したことにより、連結売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。

一方で、お客様満足度向上のための積極的な店舗改装や修繕、中国における出店に向けた基本計画の立案や人材の確保及び研修の準備等の先行投資に伴う費用が増加したことにより、前年同四半期に比べ連結営業損失が拡大いたしました。また、原油スワップ取引の終了に伴うデリバティブ評価益の消滅や協賛金収入の減少等、営業外収益の減少により、前年同四半期に比べ連結経常損失が拡大いたしました。最終損益につきましては、資産除去債務に関する費用として特別損失を計上したことにより、前年同四半期に比べ連結四半期純損失が拡大いたしました。

以上の結果、当第1四半期は、売上高2,312百万円（前年同期比10.5%増）となりました。損益面につきましては、営業損失69百万円（前年同期営業損失27百万円）、経常損失89百万円（前年同期経常損失17百万円）、四半期純損失137百万円（前年同期四半期純損失17百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は13,436百万円となり、前連結会計年度末に比べ315百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少329百万円によるものであります。

負債合計は8,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金の減少274百万円、リース債務の減少112百万円、未払法人税等の減少74百万円、資産除去債務の増加320百万円によるものであります。

純資産合計は4,501百万円となり、前連結会計年度末に比べ188百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少200百万円によるものであります。また、自己資本比率につきましては、32.3%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は775百万円となり、前連結会計年度末に比べ、359百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、5百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失235百万円、減価償却費229百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、2百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出30百万円、有形固定資産の取得による支出33百万円、貸付金の回収による収入52百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、370百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減少額274百万円、長期借入れによる収入300百万円、長期借入金の返済による支出237百万円、リース債務の返済による支出112百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該たな卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しい時には、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

法人税等の算定方法

法人税等の計上は、簡便な方法により計算しております。また、その他影響額の僅少なものについては、一部簡便な方法により計上しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ5,025千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は111,290千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	805,206	1,134,920
売掛金	61,853	92,671
たな卸資産	32,767	30,457
繰延税金資産	32,226	24,469
その他	167,940	240,961
流動資産合計	1,099,994	1,523,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,916,130	3,752,755
工具、器具及び備品(純額)	101,971	101,482
リース資産(純額)	3,013,212	3,134,893
土地	244,250	244,250
建設仮勘定	111,829	82,555
有形固定資産合計	7,387,393	7,315,937
無形固定資産		
リース資産	30,775	35,180
その他	77,051	80,300
無形固定資産合計	107,827	115,480
投資その他の資産		
投資有価証券	83,624	74,205
繰延税金資産	381,364	289,665
敷金及び保証金	3,685,855	3,694,093
破産更生債権等	87,544	-
その他	690,394	787,904
貸倒引当金	87,544	49,144
投資その他の資産合計	4,841,239	4,796,724
固定資産合計	12,336,461	12,228,143
資産合計	13,436,455	13,751,625

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	246,298	266,182
短期借入金	550,200	824,500
1年内償還予定の社債	84,000	84,000
1年内返済予定の長期借入金	974,500	957,500
未払金	272,151	296,077
未払法人税等	10,855	85,711
リース債務	1,156,222	411,572
賞与引当金	69,045	45,115
その他	580,548	606,978
流動負債合計	3,943,822	3,577,638
固定負債		
社債	138,000	138,000
長期借入金	2,115,300	2,069,300
リース債務	2,187,381	3,044,658
退職給付引当金	47,286	45,085
資産除去債務	320,627	-
その他	182,473	186,568
固定負債合計	4,991,069	5,483,613
負債合計	8,934,892	9,061,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,032,626	2,032,626
資本剰余金	2,179,226	2,179,226
利益剰余金	594,713	795,449
自己株式	466,890	466,875
株主資本合計	4,339,675	4,540,426
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,538	11,684
為替換算調整勘定	60	-
評価・換算差額等合計	5,477	11,684
新株予約権	167,366	161,631
純資産合計	4,501,563	4,690,374
負債純資産合計	13,436,455	13,751,625

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,092,162	2,312,723
売上原価	1,950,056	2,211,711
売上総利益	142,106	101,012
販売費及び一般管理費	169,923	170,106
営業損失()	27,817	69,093
営業外収益		
受取家賃	-	4,061
デリバティブ評価益	13,190	-
協賛金収入	24,380	3,142
その他	14,987	7,951
営業外収益合計	52,559	15,155
営業外費用		
支払利息	34,359	35,271
その他	7,489	124
営業外費用合計	41,848	35,396
経常損失()	17,106	89,334
特別利益		
投資有価証券売却益	167	71
固定資産売却益	1,931	-
特別利益合計	2,099	71
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	106,264
貸倒引当金繰入額	7,000	38,400
その他	-	1,210
特別損失合計	7,000	145,875
税金等調整前四半期純損失()	22,006	235,138
法人税、住民税及び事業税	18,825	5,720
法人税等調整額	23,593	103,672
法人税等合計	4,767	97,951
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	137,187
四半期純損失()	17,238	137,187

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	22,006	235,138
減価償却費	187,475	229,229
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,780	2,200
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,000	38,400
賞与引当金の増減額(は減少)	22,921	23,929
受取利息及び受取配当金	3,206	3,133
支払利息及び社債利息	35,833	35,271
固定資産売却損益(は益)	1,931	-
デリバティブ評価損益(は益)	13,190	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	106,264
売上債権の増減額(は増加)	57,414	25,502
たな卸資産の増減額(は増加)	6,604	2,310
未収消費税等の増減額(は増加)	59	47,231
仕入債務の増減額(は減少)	46,380	19,884
未払消費税等の増減額(は減少)	53,787	19,713
その他	43,220	152,231
小計	124,036	115,046
利息及び配当金の受取額	1,133	1,170
利息の支払額	33,013	30,586
法人税等の支払額	29,830	80,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,327	5,053
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	30,000
有形固定資産の取得による支出	165,319	33,904
有形固定資産の売却による収入	7,065	-
投資有価証券の売却による収入	9,599	1,011
差入保証金の差入による支出	90,378	230
差入保証金の回収による収入	13,090	8,468
貸付けによる支出	130,000	-
貸付金の回収による収入	70,971	52,427
建設協力金の支払による支出	128,000	-
その他	4,114	4,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	408,857	2,138
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	516,700	274,300
長期借入れによる収入	395,000	300,000
長期借入金の返済による支出	185,000	237,000
リース債務の返済による支出	108,724	112,627
配当金の支払額	5,650	36,485
その他	1,561	9,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	610,762	370,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	3,502
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	264,232	359,714
現金及び現金同等物の期首残高	938,616	1,134,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,202,848	775,206

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 資産除去債務に関する注記

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)

資産除去債務が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

変動の内容及び当第1四半期連結累計期間における総額の増減は次のとおりであります。

前連結会計年度末残高(注)	319,350千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	千円
その他増減額(は減少)	1,277千円
当第1四半期連結会計期間末残高	<u>320,627千円</u>

(注) 当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しているため、前連結会計年度の末日における残高に代えて、当第1四半期連結会計期間の期首における残高を記載しております。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第1四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。